

49 回生 合格体験記

掲載校（学部・学科）一覧

[尾道市立大学芸術文化学部](#)

[信州大学教育学部（中学校美術）](#)

[京都産業大学法学部](#)

[甲南大学法学部](#)

[甲南大学フロンティアサイエンス学部](#)

[甲南大学知能情報学部](#)

[神戸女子大学家政学部](#)

[神戸学院大学心理学部](#)

[武庫川女子大学経営学部](#)

[大分県立芸術文化短期大学音楽科](#)

[兵庫大学短期大学部（保育科）](#)

[姫路赤十字看護専門学校](#)

[姫路医療センター附属看護学校](#)

[姫路医師会看護専門学校](#)

就職：[宍粟市役所](#)

[播州農機販売株式会社](#)

尾道市立大学芸術文化学部

国公立大学受験合格に向けて、部活動に加えて私は 2 年次の春休みから画塾に通いました。長期休みや休日はほとんど毎日 6 時間以上、平日は 3 時間以上、絵を描きました。しかし私は、疲労と睡魔に負け、テスト勉強を怠ってしまう時もあり成績が下がることもありました。それでも頬をつねるなど起きる努力をしながら、勉強とデッサンを両立しました。今思えば、より計画的にそして効率的にできる方法があったのかなと思います。

美術選択者にもそうでない人にも言えることは、周りの人の受験対策を気にかけないことが大切だと思います。受験はみんなが同じ目標に向かって動いているわけではないので、人によってやる内容が違います。受験生はみんな頑張っています。自分と真剣に向き合い頑張ってください。



信州大学教育学部

私は中学生の時から美術教員になりたいという夢を持っており、教員免許を取れる国公立大学に行くという目標を立てました。そのため、美術工芸部に入り多くの作品を作ったり、賞を取ったりして実績を積みました。また、3 年生の春から画塾に通いデッサンや着彩の画力を向上させました。

美術の方に将来進みたいという思いがあるならば、できるだけ早くデッサンをはじめて画力をつけてください。そうすれば進学可能な大学の幅も増えてきます。また、面接では何が聞かれても答えられるように、準備・練習をたくさんすることが大切です。



京都産業大学法学部

私は公募推薦の総合評価型で受験しました。この受験方式は 2 教科の学科試験と調査書によって合否が判定されます。学科試験は英語と国語で受験しました（全てマーク式）。私は 3 年の夏休みから過去問の勉強を始めました。対策として、まず英語と国語のどちらにも言えるのは「とりあえず過去問を解いてみる」ということです。過去問を解くことで自分の実力を知ることができ、出題の傾向もわかり対策の方針を決めることができ、なにより時間配分の練習ができます。私は過去 3 年間分の入試問題を解きましたが、時間があればもう少しやっておいた方がいいと思います。英語の対策としては、文法書を一冊仕上げることです。英語は文法の配点が高いので優先すべきだと思います。会話文は会話表現を覚えると解きやすくなりました。長文は単語と文法の勉強をすればだんだん解けるようになると思います。また、英語は日頃の授業や定期テストの勉強が役立ったと感じました。国語の対策としては、過去問を繰り返し解くことだと思います。

受験を経験して、とにかく早く始めることが一番大切だと感じました。受験していた時は毎日もっと早くからやっておけばよかったと思っていました。合格できたのでよかったです。もし落ちていたらとても後悔していたと思います。大学入試で一生が決まることはないと思いますが、一つの大きな分岐点になるので、後悔ないように早く行動するに越したことはありません。

最後に、試験当日はみんな緊張するのでトイレがとても混みます。家でトイレを済ましておいた方がいいです。



武庫川女子大学経営学部

武庫川女子大学の前期の試験では 100 分の時間配分を国語 60 分、英語 40 分くらいにして不合格となった。後期の試験では英語より国語が自信があったので、国語に 85 分を使った。見直しもでき、最初に国語に時間を使おうと決めていたので気持ちが楽だった。時間配分を決めるために過去問は解いた方がいいと思う。

また、私は国公立大学受験に向けた対策として、新聞の要約と問題点をまとめ、感想を書いたものを社会の先生に見ていただいた。また、小論文は現代文の先生に見ていただいた。小論文を書く練習をしたことで読解力がついたことも、合格できた要因だと思う。



甲南大学法学部

受験内容は、主に小論文です。国際連合と PKO 活動についての教授の講義を受けた後、それについての小論文を書きます。対策として、毎日法学について調べ、自分の考えを交えて小論文を書く練習を繰り返しました。毎日小論文を書くことは、辛かったです、やはり小論文を書いて先生に添削してもらうことで、力がついてくるのを実感でき、とても受験に役立ちました。

私は、1年次の時から甲南大学に合格するという目標を持っていました。定期テストでは、常に学年順位 1 桁台を目標に頑張りました。定期テストに向けてしっかりと勉強したことが、一番合格に繋がったと思います。しかし、私は検定を受ける前に準備不足なところがあり、合格できなかったことがありました。受験にしても検定にしても、しっかり準備するということが本当に大事なことだと思いました。受験に向けて、小論文の準備をしながら定期テストの勉強をすることは難しいことですが、しっかり自分で計画を立てて実行してください。



甲南大学フロンティアサイエンス学部

私は、公募制推薦の知識活用力評価型で受験しました。入試科目は筆記と面接でした。対策として化学基礎と化学の教科書を覚え、問題集などを活用してきました。授業がある日は放課後も残り勉強してきました。また、過去問を解き、自分が苦手な範囲や覚えられていないところを再確認しました。勉強と同時並行で面接や口頭試問の練習も行いました。本番では、あまり緊張せず自分らしさを全力で出し切れたと思います。反省点は、もっと早くから計画を立てて勉強したら良かったことです。特に、面接の練習では始める時期が遅かったので少し慌ただしかったのですが、短時間で集中して内容を考え、また先生に協力していただき、何とか合格できたので、早めからの対策をお勧めします。

勉強方法は教科書などを何回も読み暗記して、問題集などを活用して問題を解き、自分が出来なかった範囲をまとめたことです。また、過去問を解き、傾向を把握し勉強しました。繰り返しますが、何事も早く計画を立てて実行することが大事です。



甲南大学知能情報学部

400 字の志望理由書の提出に向けて、何回も書いて先生方に見てもらい、指摘があったところをまた書き直してもう一度見ってもらうという日々でした。ようやく出願することができたら次は面接練習です。面接内容は志望理由、入学後や将来したいこと、高校時代の活動で PR できることでした。たくさん練習することも大事ですが、身だしなみや敬語を練習時から気を付けた方が良いです。

推薦入試を目指すときに大事なことは、学校生活ではルールを守ること、勉強面では提出物をしっかり出し、授業を真面目に受け、テストで高順位を取り続けることだと思います。ボランティアなどに参加したりすることも良いと思います。そして推薦入試を受験することを決めたら早く対策を始めて、丁寧に余裕をもって仕上げるべきです。



5月から8月に社会の様々なことについて調べ、知識を身につけました。また調べたことについて、先生から質問をしてもらい、自分がそのことについてどれくらい理解していて、説明することが出来るかということを確認してもらおうということをしていました。これを基盤とし、他にも要約の練習をし、少し慣れてきたら様々な大学の小論文の過去問で小論文の練習をしました。

9月から11月は第1志望校の過去問を解き始めました。小論文を書いたら必ず先生に添削してもらい、論理的に書くことができているか、自分の主張は自分の思い込みではないか、主張に対する根拠は誰が読んでも納得することができるのかといった自分ができていない所を指摘してもらい、何度も練習を重ねました。また志望理由書も考え、作成しました。

面接練習は志望理由書が書き終えた10月から始めました。受験する大学の特徴をおさえて、先生と確認しながらどういう方向で面接に挑むのかを志望理由書を中心に考えていきました。そして、先生に面接官をしてもらいどのような質問がきても答えられるように、毎日練習に付き合ってくださいました。

第1志望校は小論文と面接が受験内容となっていますが、社会や地域、国際、環境、自然といった幅広い分野からの出題だったため、学校での勉強以外にも様々な分野の知識を身につける必要がありました。しかし私は日頃からニュースや新聞といった社会のことについて知る時間をあまり設けていなかったため、分からないことが多かったです。よって小論文を書く際に、自分の主張すら書けない時もありました。そのため、日ごろからもっとニュースを見ておけば良かった、もっと国語の問題を真剣に解き、読解力を身につけておけば良かったといった後悔をしました。知識量も少なく、国語も苦手であったため合格に近づくことすら厳しい状態でありました。いくら自分の行きたい大学でも、努力し続けるのは本当に苦しかったです。

受験シーズンとなった時に、急いで社会全体のことについて知識を身につけようとするのは難しいです。前々から知っておくことであとからの負担も軽減することができます。今からでもネットニュースやテレビを活用して、社会のことについて知っておくことをおすすめします。また情報を知った際に、「自分はこの話題についてどう思うか」「この問題はどのように解決すべきか」といった自分の考えを持つようにしてください。これは小論文を書く上での練習となるので本格的に小論文の練習をしていない今だからこそやっておいた方がいいです。また、授業で習う小論文の構成の立て方、文章を書く時の常識等は必ず定着させてといてください。分からなくて放置した結果、苦しむことになったので、分からないことは絶対に放置しないでください。

最後になりますが小テストはしっかり準備して取り組むようにしてください。小さな積み重ねが発揮される時が必ずあります。私は小テストを真剣に取り組んだことで小論文を書く時に使う漢字や、英文読解をする時にとっても役立ちましたので、日々の努力の積み重ねが大切だということを実感しました。



神戸女子大学家政学部

私は公募推薦入試を受験しました。2教科のテストと調査書によって審査され、国語と英語で受験しました。部活動を引退してから初めて過去問を解くと、得意な英語でも5割ありませんでした。それからは過去問と同じ長さの長文を3個毎日解きました。文法問題がなかったのでひたすら長文を読んで答え合わせをし、1文ずつ日本語に訳しました。国語は苦手な評論文がよく問題になっていたので問題集を買って短い文章の問題から解いていきました。私は家にいると集中できないので図書館で勉強しました。学校がある日でも放課後に最低4時間勉強しました。

検定はたくさん取得している方が良いと思います。私の志望校には英語学部検定試験利用型という英検準2級以上持っている受験できる入試方法がありました。検定を取得していたら受験ができる入試方法が増えて、合格の可能性が高くなります。また、英単語や漢字の小テストは間違えた問題の見直し大切です。毎回これをすると過去問や他の問題を解いた時にわからなかった言葉が出てきても調べる癖がつきます。私は入試で漢字5問しかでなかったけれど、分からない問題もあったので漢字の小テストをもっと見直すべきだったと反省しています。私の場合は1人で勉強するとだらけてしまうので友達とお互いを監視しながら勉強しました。勉強友達を作るのもおすすめです。お互いを高め合うこともできます。



大分県立芸術文化短期大学音楽科

私は、音楽大学を目指すようになったのは、高校生になってからで、受験する大学を最終決定したのは3年次の8月ころでした。受験の内容は音階スケール(当日指定)・課題曲・自由曲・新曲視奏・面接でした。特に苦労したのは新曲視奏で、対策は全くと言っていいほどしていませんでした。とにかく練習曲などを初見で演奏し、先生にも課題を作成してもらい、たくさんの数をこなしました。実技試験はホールで演奏したのですが、舞台慣れをするためにも、受験までにたくさんコンクールに挑戦したり、舞台上で演奏したりするなど、人前で演奏できる機会を自分から積極的に作りました。

私は1年次の時は休日は遊びまくり、平日も部活動が終わって家に帰ると疲れてすぐ寝ていました。音楽大学を目指すようになってからは休日もずっと練習で、遊ぶ暇がなくなりました。今思えばあの時から練習していたら今はもっと上手になれたのかなと思います。後悔をしないように、1,2年次の時からしっかり準備をしていた方が良いでしょう。

私が特に大切だと思うことは毎日継続することです。毎日部活動終了後家に帰り、夜まで練習しました。疲れている日は30分だけでも練習しました。1日さぼると、どんどんさぼってしまうからです。休憩をする時は5分としっかり休憩時間を決めてから休憩していました。

音楽大学を目指すことを決めてから、準備期間が短く大変なことが多かったですが、日々の努力の積み重ねで合格することができました。



兵庫大学短期大学部(保育科)

私は、受験内容で特に重要視したのが面接です。受験に向けて面接ノートを作成し、毎日コツコツと何を質問されても答えられるように質問内容を考えていました。例えば、よく聞かれるような「最近気になったニュース」以外に、「アドミッションポリシーと自分の関わり」や「コロナ禍の今、保育士が考えなければならない事は？」などです。面接ノート以外には、授業やテストはもちろん、各種検定の取得へ向けて励み、難関の保育検定1級にも合格することができました。入試では今までの努力を全て発揮でき、見事に合格をすることが出来て、とても嬉しかったです。それは、自分1人だけじゃなく、本当に沢山の先生方や家族、友人のご指導や支え、応援があったからです。本当にたくさんの方々へ感謝しています。

私は3年次の頃から少しずつコツコツと入試に向けて努力を積み重ねてきましたが、もっと2年次のうちから早く入試に向けて準備をして来たら良かったと少し後悔しました。受験生の皆さん、後悔しないよう早めの対策をしてください。



姫路赤十字看護専門学校

日々の授業を大切にすることは当然ですが、隙間時間を使ってことわざや慣用語、四字熟語を覚えたり、家では2,3年で使った国語研究のワークを何度も解いたり、問題集を買って解いたりしました。また小論文は第1志望であった公立大学受験に向けて早めに取り掛かった対策(ニュースを読んで感想を書く、看護の知識を取り入れる)がここでとても役立ち、文章の中に蓄えた知識を加えるということができたのであとは何回も小論文を書いて添削してもらおうということをしていました。

そして面接練習では最初はなかなか上手く伝えたいことが伝えられず焦りましたが、毎日担任の先生以外の先生方にもご指導していただくことで、多様なアドバイスを聞くことができました。面接はとにかく量が必要です。何度もやれば自信につながり、本番は落ち着いて相手の目を見て話せます。また、第1印象を良くするために家の鏡の前で何度も顔や姿勢を作るということをしていたので、本番は笑顔で姿勢よく話せた気がします。

こんな大変な日々を乗り越え、合格証書を手にした時は思わず涙が溢れました。入試には必ずゴールがあります。勉強から逃げ出したいと思ったときは、自分が志望校の合格通知を手を持ち、喜んでいる姿を想像して頑張ってみてください。絶対に第1志望に合格したい！その気持ちがあれば受験勉強の日々は乗り越えられるはずです。



姫路医療センター附属看護学校

受験内容は、小論文と面接でした。面接の対策として、面接ノートというものを夏休み前に作り、志望校について調べ、志望理由や長所、高校で努力したことなどといった基本的なことをまとめました。また、時事問題についても問われる可能性があったため、毎朝の通学時間を利用してスマホでニュースを見ていました。小論文の練習は、1週間につき1つの小論文を書き上げ、国語科の先生に添削をしてもらいました。小論文のお題は、進路資料室にある過去の先輩方の受験レポートから取り上げました。

入試科目に学科試験はありませんでしたが、万が一の場合に備え、看護学校の過去問を集めた参考書を買って、夏休み中に2回解きました。まずは一通り解いて、わからなかった問題に付箋をつけ、2回目はそのわからなかった問題を徹底的に解きました。

勉強は、できるようになると結果が付いてくるので楽しくなってきます。定期考査で悩んでいる人は、まずは暗記科目から取り組んでみてはどうでしょうか。日々の小テストも成績において重要ですから、毎回の小テストで満点を目指して取り組むことは大切です。まずは小さな成功を積み重ね、自信を持てるようにしていきましょう。



姫路市医師会看護専門学校

まず、私がここを受けよう！と思ったのは1年次の秋、進路ガイダンスの時からです。入試方式は推薦と一般がありますが、推薦から受験することを決め、一年次から成績を落とさないように気をつけて過ごしました。

推薦入試の受験内容は国語と面接です。1年次から読解力と漢字力を磨くために多くの本を読んでいます。面接では、ほぼ確実に「3年間で頑張ったこと」を聞かれると思っていたので、答えに困らないようにと1年次で英検準2級、2年次で全商英検2級と情報処理検定2級を受け合格し、3年次では英検2級、全商英検1級を取得し、検定面では誰にも負けないようにしました。

具体的に国語の対策をし始めたのは3年次に入ってからです。私は漢字がとても苦手だったので、自分で「漢字ひたすら書きノート」というものを作って、ノートが真っ黒になるぐらいに漢字を書き殴って覚えるようにしました。慣用句や四字熟語の知識も必要だったので、スマートフォンのアプリに四字熟語や慣用句学習があったので、片っ端からダウンロードして解きました。

面接は、多くの先生にご指導いただきました。夏休み前には面接ノートを作って、志望動機や自己PRをまとめました。そのノートを先生に提出して添削していただき、実際に模擬面接をする毎日を繰り返しました。先生に迷惑がかかるかな、と思う時もありましたが、いつも助けてくださいました。

一人でやると甘えてしまうことがあります。同じ目標を持つ人と協力して勉強していくと、周りを見た時にモチベーションが湧き、一人でやる時より集中できます。受験は個人戦と協力戦、同じ目標を持つ友達と結託しつつ、いいライバルだと思いながら頑張ってください。



宍粟市役所

対策を始めたのは2年次の夏休みです。この頃特に力を入れていたのは「数的推理」と「判断推理」の勉強です。公務員試験特有の教科で配点も高いので早めの対策が必要です。また、広く浅く出るのが公務員試験の特徴なので、学校の授業や課題を大切にしていました。これで基本の力をつけることができます。

3年次になり部活がない日には欠かさず、平日は3~4時間、休日は7~8時間勉強していました。重点的にやっていたのは、「数的」「判断」「政治・経済」と「適性試験」です。また、休み時間に参考書を開いて歴史の流れを確認したり、単語帳を作って重要語をおぼえたりしていました。ここから試験の申込が始まるのでスケジュール管理が大事になってきます。常に意識することは【隙間時間の活用】【スケジュール管理しっかりやる】【とにかく基礎を固める】です。面接練習は3年の春からで、作文は勉強と同時並行で対策しました。

受験は甘くありません。周りが対策していないように見えても日々の小テストの勉強や授業の復習などできることから努力を積み重ねてください。



播州農機販売株式会社

私は、高校卒業後は就職すると早い段階から決めていました。高校に来る事務職の求人は少ないと1年次の時に聞いてからは、少しでも就職に有利になるように1年次から勉強に励んできました。日頃から予習と復習をして、定期考査では、ワークを何度も解き直したり、分からない問題はインターネットや参考書を活用したりとしっかりと準備をした上で考査を受けていたので、3年間の年次順位は一桁を維持しました。また、小テストも手を抜かずに満点を取り続けました。

進路実現に向けて動き出したのは、3年次の夏頃でした。その時、私は1年次の時からもっと検定を多く取得しておくべきだったと後悔しました。情報処理検定と全商英検の2つしか持っていなかったのも、検定を多く取得しておけば、自分の武器を増やすことが出来たと思いました。同じ企業に就職試験を受けに来る人達が、どのような人達かは当日まで分かりませんが、検定を多く取得しておけば、自分のアピールになります。また、履歴書にも記入が出来るので、一つでも多くの検定を取得していると印象も良くなります。小テストや定期考査の勉強をしっかりと行い、検定取得にも積極的に励むことが将来の自分の糧になるので、今出来ることに懸命に取り組んでください。

